

授業科目名	グローバルヘルス <i>Global Health</i>		担当教員	小川 里美	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択 (保健・看護コース 必修)	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	グローバル化する感染症や環境破壊など、これまでとは次元の異なる健康問題を理解するために、開発過程に伴う各種健康課題を倫理・文化・政治・経済など学際的な視点で分析し、看護介入を考察する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康にかかわる要因について説明することができる 2. 開発と健康課題について理解することができる 3. 世界の健康問題と看護介入について考察することができる 				
授業計画	<p>健康に関する要因を概観し、健康との関連をディスカッションする</p> <p>1回 グローバリゼーションと健康 (小川) グローバリゼーションに伴う健康問題を概観する</p> <p>2回 健康と開発 (小川) MDG から SDG へ-開発概念と健康の関係を概観する</p> <p>3回 貧困と健康 (小川) 貧困・格差社会と健康問題について検討する</p> <p>4回 文化・宗教と健康 (小川) 文化様式や宗教を概観し、健康とのかかわりについて検討する</p> <p>5回 環境と健康 (小川) 環境の変化が健康に及ぼす影響について検討する</p> <p>6回 紛争・危機と健康 (小川) 紛争・危機下の健康問題について検討する</p> <p>7回 世界の健康問題と看護 (1) (小川) 世界の健康問題で関心のあるものについて調べ、テーマを設定し、発表する</p> <p>8回 世界の健康問題と看護 (2) (小川) 世界の健康問題で関心のあるものについて調べ、テーマを設定し、発表する</p>				
学習方法	毎回のテーマについて、文献を活用し事前学習して講義に臨んでください。				
オフィス アワー	金曜日の昼休み、もしくはメールで事前に連絡をとってください。 s-ogawa@jrckicn.ac.jp (小川)				
テキスト	特に指定しない				
参考文献	<p>Basch, P.: <i>Textbook of International Health (2nd Ed)</i>. New York, Oxford University Press, 1999.</p> <p>McCracken, K., Phillips, D.: <i>Global Health: An Introduction to Current and Future Trends</i>, New York, Routledge, 2012.</p> <p>Purnell, L.: <i>Transcultural Health Care: A Culturally Competent Approach</i>. Philadelphia, F.A.Davis Company, 2012.</p> <p>アマルティア・セン：不平等の再検討。東京，岩波書店，2005。</p> <p>稲賀繁美編：異文化理解の倫理にむけて。名古屋，名古屋大学出版会，2009。</p> <p>久間恵子：医療の比較文化論。京都，世界思想社，2003。</p> <p>UNFPA: <i>State of World Population 2014</i>. 世界人口白書，阿藤 誠監修：公益財団法人ジョイセフ，2014。</p>				
評価方法	授業への参加度 (10%) プレゼンテーション (40%) レポート (50%)				